

学校長挨拶

令和7年4月1日より、校長として着任いたしました川本慎一です。

当校は来年度、創立80周年を迎える伝統ある学校です。これまでの歴史を紐解いてみると、開校当初は校舎を2ヶ所に分けて教育活動を行ったり、豪雪や台風などの自然災害により、何度も校舎に大きなダメージを受けたりと、様々な困難に直面してきたようです。

しかし、困難に直面するたびに、生徒、職員、保護者、地域、行政が一致団結し、見事に困難を乗り越え、今日に至っていることがわかりました。



現在の小須戸中学校の生徒数は約220人と、生徒数が一番多かった頃の約5分の1程度となっています。小須戸中学校区全体も人口減少と高齢化が進み、新たな困難に直面している状況と言えるかもしれません。

一方で、小須戸中学校区には、どこにも負けない強みもたくさんあります。家庭で愛情豊かに育てられた生徒たちは明るく素直で、何事にも一生懸命に取り組む生徒が多く、学校の中はいつも活気に溢れています。

また、家庭と地域、学校が連携して、生徒たちの成長を支援する体制が整っていることにもありがたいことだと感謝しています。

小須戸中学校区の保育園、小学校、中学校、高等学校の連携も大きな強みです。教育活動を校種を超えて一緒に行ったり、小学校の学校行事を中学生が手伝ったりしています。言葉で言うのは簡単ですが、実際に行うことは本当にすごいことだと思っています。

さて、社会は正解のない時代に突入しており、学校で教えられた知識や技能だけでは、これからの変化に対応できなくなっていくと思います。自ら課題を発見し、その解決に向けて身に付けた知識や技能を活用したり、他者と協働したり、多様な価値観の人々と折り合いを付けたりしながら、よりよい解決に向かう経験こそが、これからの社会で活躍するためには必要となります。

そこで私は、小須戸中学校の生徒を地域に積極的に送り出し、様々な人たちと関わりながら、地域のために行動する経験をたくさん積ませたいと考えています。小須戸中学校区には2つのコミュニティ協議会が大変活発に活動しており、両協議会からは、生徒の活躍の場をたくさん与えていただいています。これからも両協議会の活動に、企画の段階から生徒を参加させていただき、当日の運営や最後の総括まで関わらせていただけたら、小須戸中学校の生徒がどれほど成長するだろうとワクワクしながら考えています。

生徒は地域の宝であると同時に、地域活性化の原動力であることを具現化し、小須戸中学校区全体の発展のために、微力ながら私自身も頑張ります。今後とも、どうぞよろしくお願ひします。